

第118回 令和7年11月6日(木)

新チームについて。

最近の漫画はわかりませんが、「ハイキュー」でも「スラムダンク」でも「黒子のバスケ」でも共通しているのは主人公が入部したての1年生ですよね。

新人戦が始まるころかと思います。だいたい優勝候補は「昨年とメンバーがあまり変わらないチーム」であることが多いです。確かに新人戦は勝てますが、そのようなチームは春に苦杯をなめることが多いように思います。

チームに大切なのは「新陳代謝」です。特に意外と春先強いのは下級生主体のチームです。入ったばかりで新人戦は間に合わなかった下級生がぐんぐん力を付けたチームほど勢いがあります。

昨年からのエースは3年生になると絶対的エースになることが求められます。ときには負荷がかかりすぎてケガをすることもあります。良いチームは下級生エースが成長してダブルエースの形になったりします。相手にとっては的が絞りにくくなります。

最上級生は背負うものが多くなりがちなのでできるだけ伸び伸びできる環境を作つてあげたいものです。「ハイキュー」は理想的なバランスですよね。怖いもの知らずの急成長する1年生3人と頼りになる2年生、そしてチームを支える3年生が縁の下の力持ち的に働いていますよね。この構図は「スラムダンク」もほぼ同じ。きっと作者もこのバランスが理想であると感じているのでしょうね。

昨年から試合に出ているメンバーが多いチームが悪いわけではありません。それでも下級生が突き上げる環境を作ることが大事だということです。そこで生じる切磋琢磨がチームを変えていきます。

選手が残っていると指導者も力が入りがちです。私はそのような状況であえて下級生チームでよく練習試合をしました。ベンチにいる3年生も下級生の成長に焦りを感じますし、下級生も勝負は来年とあきらめずに上級生に食い込もうとモチベーションが上がります。

これから新人戦が始まりますので勝負ゲームなど私が観に行ける公式戦があったら教えてくださいね。勝ちを目指して頑張る姿を見ることも楽しみですが、どんな新戦力が育っているのかを観るのもとても楽しみです。